

センター通信

NO. 370 令和8年1月30日
発行 東大阪市教育センター

「探究」と「対話」
「トライ&エラー」



次世代の学びを支える端末更新に向けた教員研修

GIGAスクール構想のさらなる推進と、日々の授業におけるICT活用の定着をめざし、「児童生徒用端末更新に向けた操作研修（第2回）」を実施しました。今回の研修では、次年度の端末更新に向けてGoogle Workspace for Educationを活用したChromebookの操作方法を学びました。自校での校内研修実施に向けて、講師の説明を聞きながら、学んだことや気づきを端末上でアウトプットしながら、主体的に参加している姿が印象的でした。

また、本研修はICT支援員の方々のサポートもあり、参加者が操作に不安を感じる場面でも、すぐに相談や支援できる体制のおかげで一人ひとりが学びやすい環境を作ることができました。

参加者のアンケートには、「自分自身が操作に迷ったことで、パソコンが苦手な先生や子どもたちの気持ちが分かった。早く理解して伝えたい。」や「多様な機能があることに驚いた。もっと活用してみたい。」、「明日から授業で使える具体例が良かった。」等、前向きな感想が多くありました。

「まずは自分が慣れることから」という先生方の学びの姿勢が、子どもたちの新しい学びを支えていくことになります。今後は、研修で学んだことを各校に持ち帰り、校内研修の実施をお願いいたします。

教育センターでは、端末更新後も先生方が積極的に活用できるよう、研修等で端末を活用した学びの充実を図ってまいります。



押さえておきたい基本操作と便利機能等

【基本操作】	【便利機能等】
□電源の入れ方	□スクリーンキャプチャ
□タッチパッドの操作	□画面を分割して使用する機能
□クイック設定パネル	□ユーザー補助機能
□キーボードについて	□Chromebookの使い方について
□タブレットモードについて	□ショートカットキー 記号とブックマーク
□マイファイルについて	□ツールバーのカスタマイズ
□カメラ機能について	□生成AI「Gemini」で使い方を調べる
□アカウントの削除の方法	

希望の3学期がスタート！

教育支援センター(ふれあいルーム、ふれあいオンラインルーム)

新しい年、そして1年の締めくくりとなる3学期が始まりました。ふれあいルームは、1月8日（木）に3学期がスタートしました。初日は例年に比べ、寒さの厳しい朝となりましたが、多くのルーム生が元気に登室し、教室には活気ある声が響きました。3学期が始まって早速、受験に向けた面接練習に励む生徒の姿が見られるなど、それぞれが目標に向かって一歩ずつ歩みを進めています。

1月15日（木）には、学期初めの活動として「餅つき大会」を開催しました。蒸したてのもち米の香りが広がる中、子どもたちは「よいしょ！」と声を合わせてお餅をつき、つきたての柔らかいお餅を丁寧に手でちぎって丸めて、きなこもちやぜんざいにして食べました。餅つきを初めて経験した子ども多く、笑顔があふれる楽しい活動になりました。

ふれあいオンラインルームも、1月7日（水）に3学期がスタートし、初日からルーム生が学習や「わくわくタイム」での活動に意欲的に取り組んでいました。

今学期も、ふれあいルーム、ふれあいオンラインルームでは、子どもたちの成長に寄り添う多様な取り組みを進めるとともに、保護者の皆様や学校と密に連携し、一人ひとりを全力でサポートしてまいります。



餅つき大会



ふれあいオンラインルーム メタバース空間